

# 令和8年度 大野市富田小学校 スクールプラン

大野市教育理念 「明倫の心を重んじ 育てよう 大野人」

～優しく 賢く たくましい大野人～

学校教育目標 「ともに学び あすをきりひらく子の育成」

めざす学校像 ○魅力ある学校 ○人間尊重・人権尊重の精神に満ちた学校 ○家庭や地域から応援される学校



全ての教育活動にSDGsを

## 【めざす児童像】

- 明るく思いやりのある子 (多様性を尊重できる)
- 主体的に取り組む子 (自ら課題を持ち学びに向かう)
- たくましく、健やかな子 (心身共に)
- 笑顔いっぱいの子 (前向きに取り組む)

## 【めざす教職員像】

- ◆学び続ける向上心をもつ教職員
- ◆同僚性を大切にする教職員
- ◆保護者・地域から信頼される教職員
- ◆笑顔を広げる教職員

## 【研究主題】 学び合う子の育成

### 重点目標

多様性を尊重し 思いやりのある子を育てる	主体的に取り組む子を 育てる	たくましく 健やかな子を育てる	地域と共に子どもを 育てる
<ul style="list-style-type: none"> <li>○自己存在感や充実感を感じられる機会をつくり、「学校が楽しい」と思える児童を増やす。</li> <li>○児童の声に耳を傾け、一人一人を大切に温かく思いやりのある学級・学校をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師のファシリテーションの質を高め、誰もが力を発揮できる学級づくりを目指す。</li> <li>○振り返りの中で学びの言語化を行い児童の学びを確かなものにする。</li> <li>○様々な場面でより良い判断ができる子を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康や安全について自分で考え行動できる子を育てる。</li> <li>○運動や遊びの場、機会を工夫し、体力の向上を図る。</li> <li>○夢や目標に向かってがんばる心や体を育てる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭や地域から信頼され、応援される学校をめざす。</li> <li>○家庭や地域・関係機関との連携をすすめる。</li> <li>○幼小中高のつながりを意識した連携をすすめる。</li> </ul>

### 具体的な取り組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての教育活動を児童が主体的に取り組める場、機会として意識し、居場所づくり・絆づくりにつなげる。</li> <li>○児童の声に耳を傾け、きめ細かな児童観察や学級づくりを通して、いじめの「未然防止・早期発見・事案対処」、不登校の「未然防止・初期対応・自立支援」に努める。(心のアンケート)</li> <li>○相手を意識したあいさつや返事、言葉づかいができるよう働きかける。</li> <li>○高齢の方など様々な方との交流の機会をもち、思いやりの心を育む。</li> </ul> <p>(学校が楽しい 90%) (みんなで何かをするのが楽しい 80%) (自分にはよいところがある 80%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教師力(児童の考えを引き出す・ゆさぶる課題設定、発問、介入)を高め、児童主体の授業づくりをする。</li> <li>○学びが実感でき、次の学びにつながる振り返りの工夫をする。</li> <li>○互見授業を通して授業力を高める。</li> <li>○授業の中で、情報を選択したり、思考を整理したりする学習を取り入れる。</li> <li>○読書活動を通し、読む力・想像力・社会とつながる力を育む。</li> <li>○教育的効果を考えたタブレットの活用を工夫する。</li> </ul> <p>(主体的に取り組んでいる 80%) (授業がよく分かる 80%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○基本的な生活習慣の定着に向けて働きかける。</li> <li>○自ら考え判断し行動できるような避難訓練を実施する。</li> <li>○体育の授業や休み時間、縦割り活動の中で、運動や遊びの場、機会を工夫し、体力の向上を図る。</li> <li>○児童自らがめあてを持ってマラソンやなわとび等の運動に取り組めるように工夫する。</li> <li>○いろいろな場を通して、夢や目標に向かってがんばることのよさに気づくことができるよう、活動の過程を大切にする。</li> </ul> <p>(夢や目標がある 80%) (目標に向かって頑張っている 90%)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○家庭・地域・関係機関と連携し、いじめの未然防止・早期発見・事案対処に努める。(いじめアンケートの実施と分析・対応)</li> <li>○地域の自然や歴史・文化・人材を学習に生かした体験的な活動を推進する。(</li> <li>○各種便り(学校だより、学年だより等)を通して家庭、地域との共通理解を図る。</li> <li>○ファミリー読書などを通して、家庭での読書を勧める。</li> <li>○家庭と連携し情報機器のよりよい使い手となる児童を育てる。</li> <li>○18年教育を意識し、他校の取り組みを共有し、高め合える交流をする。</li> </ul> <p>(情報モラルについて家族と話している 75%) (読書が好き 70%) (家庭との連携を図ろうとしている 90%) (いじめ解消率 100%)</p>
---	---	---	--

【業務改善の取組】 ○一人一人の意識改革と同僚性

- 連絡シート・声のかけ合い・終礼による連絡の徹底
- 対話型行事反省・つぶやきメモ付き引継書の作成と随時更新→確実な引継ぎ

○授業時数の見直しと業務集中日の設定

- 出退勤時刻の計画的な管理(タイムマネジメント)
- 計画的な年休の取得